

1998年9月30日。 この日、全人類を蝕む 絶望の種が 産まれた——。

アメリカ合衆国中西部に位置するラクーンシティ。自然豊かなこの街の郊外に以前は製業会社アンブレラ社の工場が存在したが、今はその殆どの施設は移転してしまっている。このアンブレラ社が秘密裏に研究開発を進めていた“何か”が街の住民達に大きな健康被害を与えているとのメッセージを受け取ったクレア。ラクーンシティの施設で育ったクレアは、その真実を突き止めるべく、R.P.D.（ラクーン市警）で特殊部隊=S.T.A.R.S.の隊員である兄・クリスのもとを訪ねる。クレアはクリスにこの事実を訴えるも「お前は昔から陰謀論を持ち出すが、データメダ」と取り合ってくれない。しかしその時、街中に大音量のサイレンが鳴り響く。アンブレラ社から住民に自宅待機するよう警報が発せられたのだ。クリスは急ぎ署に向き、S.T.A.R.S.の隊員である、ジル、ウェスカーと共に、郊外にあるスペンサー邸で消息を絶った同僚を捜索する為、ヘリコプターで出動する——。一方、クレアはクリスを追いかけてR.P.D.に——。しかし、既に住民達の身体には変化が起き始めていた。その皮膚は腐乱し、口や目から血液が流れ落ち、死体の様な状態にも関わらず、人肉を欲し彷徨うゾンビと化したのだ。スペンサー邸ではクリス達の壮絶なサバイバルが繰り返され、R.P.D.内でも、クレアそして新人警官のレオンに、ゾンビ達が襲い掛かる。

生き残るには、逃げるしかない。
この街から——。

バイオハザード ウェルカム・トゥー・ラクーンシティ

1.28 FRI

クレア・レッドフィールド
(カヤ・スコデリアオ)

勝気な性格で、行動力に溢れたクリスの妹。アンブレラ社が起こした事故の真相を追い、5年ぶりにラクーンシティを訪れる。

クリス・レッドフィールド
(ロビー・アメル)

クレアの兄で、R.P.D.の特殊部隊S.T.A.R.S.に所属。卓越した戦闘能力を持つ。自身を育ててくれたアンブレラ社に恩義を感じている。

ジル・バレンタイン
(ハナ・ジョン=カメーン)

S.T.A.R.S.のメンバーで、クリスとパートナーを組む。男勝りな性格で気分屋、責任感が強く運動神経が抜群で射撃の腕にも不足はない。

アルバート・ウェスカー
(トム・ホッパー)

特殊部隊S.T.A.R.S.のアルファチームに所属。行方不明のブラヴォーチームの捜索任務でスペンサー邸へ。誰かと連絡を取り合っている。

レオン・S・ケネディ
(アヴァン・ジョーギア)

R.P.D.へ新たに配属された新人警官。正義感強いが、不真面目で大胆不敵な面も持つ。S.T.A.R.S.のメンバーとは馴染めないでいる。

「ゲームシリーズに基づくホラー映画を目指した」
監督・脚本：ヨハネス・ロバーツ

ミラ・ジョヴォヴィッチ主演で大ヒットした映画「バイオハザード」シリーズ。2002年から2016年までに6作品が製作され、ゲームには登場しない主人公アリスとアンブレラ社との壮大な戦いは完結。ファン待望の最新作である本作は、全世界のシリーズ累計売上本数が1億2000万本を超える大ヒットゲームシリーズ「バイオハザード」の原点を描く。ホラー要素を余すことなく演出に取り込み、ゲームの世界観やアクションを再現した映像を体感できる新シリーズが始動する。

